

企画展

与謝野晶子を 支えた 実業家たち

The Industrialists
WHO SUPPORTED
Akiko Yosano

会期 2019年5月25日(土)～6月16日(日)

時間 午前9時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

会場 さかい利晶の杜 企画展示室

観覧料 〈一般〉300円 〈高校生〉200円 〈中学生以下〉100円

※「与謝野晶子記念館」「千利休茶の湯館」の観覧券で企画展示室にもご入場いただけます。

主催 堺市 協力 与謝野晶子倶楽部



SAKAI
RISHO
NO
MORI

さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

右から与謝野晶子、小林天眠、川勝堅一、与謝野寛(与謝野光氏旧蔵)

企画展 与謝野晶子を 支えた実業家たち

堺出身の歌人・与謝野晶子(1878-1942)は、夫の寛(鉄幹)と共に、日本近代文学を牽引する創作活動を行いました。晶子は12人の子どもを育て経済的にゆとりがない中で多くの作品を生み出しました。その晶子の才能に魅了された実業家たちは、様々な形で手を差し伸べました。

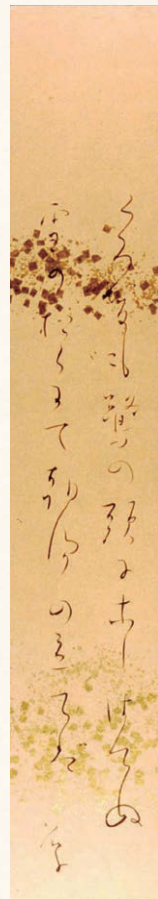
本展では、晶子の輝かしい業績を支えた人々の思いや支援について、小林天眠をはじめ、3人の実業家にスポットをあてて紹介していきます。



晶子が天眠に送った祝歌を染めぬいた風呂敷 小林天眠文庫



晶子が川勝堅一を讃えた祝福歌の原稿 堺市博物館蔵



晶子自筆歌短冊(くる髪も) 小林天眠文庫

くる髪も鷲の頭になしはてぬ雪のおくにて朝湯の立ては 晶子

晶子を支えた三人の実業家

小林天眠 (1877 - 1956)

本名は政治。実業家であり小説家。晶子にとって最大の支援者であり、その生涯に渡って交流を続け、協力を惜しまなかった。また、三女迪子が与謝野夫妻の長男光と結婚し与謝野家とは姻戚関係となる。大阪変圧器株式会社(現、株式会社ダイヘン)の創業者で初代社長。天佑社という出版社を立ち上げ、晶子の著書をはじめとする後世に残る書物を出版した。多くの文学者と親交をもった天眠が所蔵していた貴重な資料は「小林天眠文庫」として伝えられている。

川勝堅一 (1892 - 1979)

高島屋の重役。「百選会」という呉服催事を開催し晶子を顧問として迎えた。また、堅一と交流のあった一流画家と晶子の作品を組み合わせ、屏風や掛軸などの美しい作品を生み出した。それらは、「川勝コレクション」として堺市博物館が所蔵している。

小林逸翁 (1873 - 1957)

本名は一三。阪急電鉄などを創業。晶子の諸作品を収集するなど、与謝野夫妻の支援者。美術品の蒐集家で、茶の湯を愛する文化人であった。

学芸員による展示解説

日時：6月1日(土)午後1時～(20分程度) 場所：さかい利晶の杜 企画展示室
参加：無料・申込不要(展示観覧券を事前にお求めください)

同時開催

『新新源氏物語』完成80年記念
晶子フォーラム2019 ～時代を超える晶子源氏～

●会期 2019年5月25日(土)～6月2日(日)
※会期中、各所で開催。詳細はさかい利晶の杜HPをご確認ください。